

御製 五首

平成二十四年

心臓手術のため入院

手術せし我が身を案じ記帳せるあまたの人の心うれしき

仙台市仮設住宅を見舞ふ

禍<sup>まが</sup>受けて仮設住居に住む人の冬の厳しさいかにとぞ思ふ

即位六十年に当たり英国の君に招かれて

若き日に外国<sup>とっくに</sup>の人らと交はりし戴冠式をなつかしみ思ふ

沖縄県訪問

弾を避けあだんの陰にかくれしとふ戦<sup>いくさ</sup>の日々思ひ島の道行く

明治天皇崩御百年に当たり

様々の新しきこと始まりし明治の世しのび 陵<sup>みかさぎ</sup>に詣づ

御製 五首

平成二十四年

心臓手術のため入院

手術せし我が身を案じ記帳せるあまたの人の心うれしき

本年二月十八日、陛下は冠動脈バイパス手術をお受けになり、三月四日に御退院になった。この間皇居等にお見舞い記帳に訪れた多くの人々に対する感謝のお気持ちをお詠みになった御製。

仙台市仮設住宅を見舞ふ

禍<sup>まが</sup>受けて仮設住居に住む人の冬の厳しさいかにとぞ思ふ

天皇后両陛下は、本年五月、東日本大震災の被災者を、仙台市の仮設住宅にお見舞いになった。この御製は、仮設住宅において寒さの厳しい冬を過ごす人々にお心をお寄せになり、お詠みになったもの。

即位六十年に当たり英国の君に招かれて

若き日に外国<sup>とつくに</sup>の人らと交はりし戴冠式をなつかしみ思ふ

陛下は英国エリザベス二世女王陛下の戴冠式が行われた昭和二十八年、昭和天皇の名代として十九歳で式に御参列になり、女王陛下を始め各国からの代表とお会いになった。この御製は、本年五月の女王陛下即位六十周年に伴う英国御訪問に当たり、戴冠式での御経験を思い起こされ、お詠みになったもの。

沖縄県訪問

弾を避けあだんの陰にかくれしとふ戦いくひやの日々思ひ島の道行く

天皇皇后両陛下は、本年十一月、全国豊かな海づくり大会御臨席のため沖縄県を御訪問になった。この御製は、道からあだんの木を御覧になった際、弾を避けてあだんの木の陰に隠れたという沖縄戦のことを思い起こされ、お詠みになったもの。

明治天皇崩御百年に当たり

様々の新しきこと始まりし明治の世しのび陵みやこに詣づ

天皇皇后両陛下は、明治天皇崩御百年に当たり、本年十二月、京都府の明治天皇陵と昭憲皇太后陵を御参拝になった。この御製は、その時のことを、お詠みになったもの。

第六十三回全国植樹祭

山口県

海近き開拓地なるきらら浜に県木あかまつを人らと植うる

第六十七回国民体育大会

岐阜県

小旗振りて通りて行ける選手らの笑顔うれしく手を振り返す

第三十二回全国豊かな海づくり大会

沖縄県

チユラウミユニガテイイチユマンヌウミニニミーバイトウタマンクイユハナチ  
ちゆら海よ願て糸満の海にみーばいとたまん小魚放ち

※琉歌

皇后陛下御歌 三首

平成二十四年

復興

今ひとたび立ちあがりゆく村むらよ失せたるものの面影の上に

着袴の儀

幼な児は何おもふらむ目見澄みて盤上に立ち姿を正す

旅先にて

工場の門の柱も対をなすシーサーを置きてここは沖繩

皇后陛下御歌 三首

平成二十四年

復興

今ひとたび立ちあがりゆく村むらよ失せたるものの面影の上に

天皇皇后両陛下は、昨年に引き続き本年も宮城県、長野県、福島県の被災地を御訪問になり、東日本大震災等の被災者を見舞われ、支援者をお労いになった。この御歌は、地震と津波により失われた人命、家、周囲の自然等、その全てを面影として心に抱きつつ、今一度復興に向け立ち上がるうとして、お詠みになったもの。

着袴の儀

幼な児は何おもふらむ目見澄みて盤上に立ち姿を正す

昨年十一月三日、赤坂東邸において、悠仁親王殿下の「着袴の儀」、「深曾木の儀」が行われた。儀式の中で碁盤の上に立ち、しっかりと姿勢を正された悠仁親王殿下のお姿をお詠みになった御歌。

旅先にて

工場の門の柱も対をなすシーサーを置きてここは沖縄

本年十一月の沖縄県行幸啓の際、普通伝統的沖縄家屋に付されているシーサー（魔除けの焼き物の唐獅子）が、近代的な工場の二本の門柱の上にも置かれているのを微笑ましく御覧になり、御自分が今沖縄の地にあることをしみじみと思われてお詠みになった御歌。